

14. シンガポール

■正式国名：シンガポール共和国

Republic of Singapore

■政治形態：共和制

■面積：720km²（淡路島と同規模）

■人口：598万人

■言語：マレー語（国語、公用語）、

■通貨：シンガポール・ドル

英語と中国語とタミル語は公用語

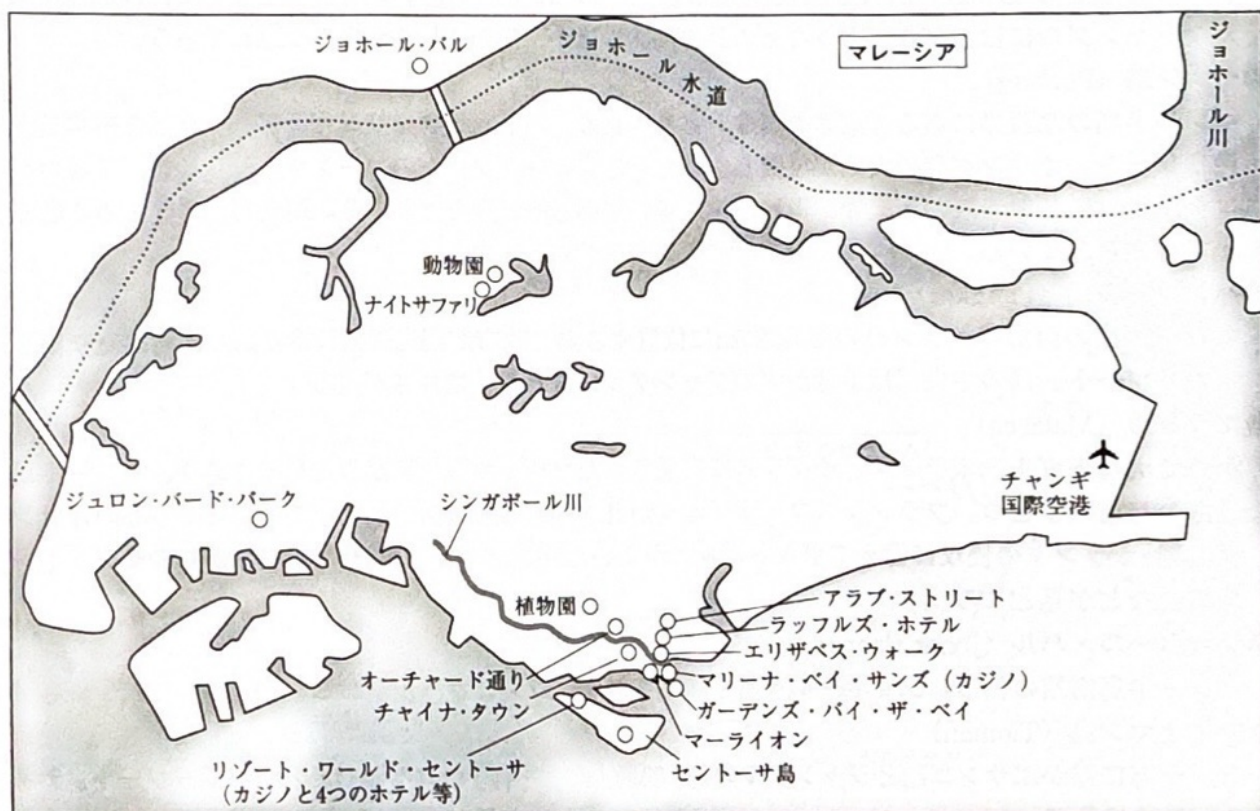
(1 シンガポール・ドル = 115.4955 円)

■住民：中国系が約74%、マレー系が約14%。その他インド、パキスタン系など。

■宗教：仏教、イスラム教、ヒンドゥー教、キリスト教、道教など。

■地勢：シンガポール島と付近の60余の島からなる。ジョホール水道を隔ててマレーシアと接するシンガポール島は、大部分が起伏の少ない低い丘（最高点はブキテマの175m）である。

■気候：赤道直下だが、熱帯海洋性気候のため、1年を通じてあまり変化がなくしのぎやすい。12月が比較的雨量が多く、最も涼しい。



- ☐ **観光**：シンガポール川でのリバーボート・クルーズ。レジャー・アイランドのセントーサ島巡り。ナイトサファリ
- ☐ **名物料理**：チキンライス（蒸し鶏と鶏ガラスープで炊いたごはん）。チリクラブやペッパークラブ（カニ料理）。クレイポット（鶏肉、中華ハム、ネギ入り土鍋ごはん）。スチームボート（海鮮や野菜入り鍋料理）
- ☐ **土産品**：漢方薬。中国茶。バティック（ジャワ更紗）。宝石類。ラッフルズ・ホテルのグッズ
- ☐ **アトラクション**：屋台、ピンク・ドルフィンのショー（セントーサ島）。マリン・スポーツ。ゴルフ。リゾートワールド・セントーサやマリーナ・ベイ・サンズのカジノ

- マーライオン／上半身がライオン、下半身は魚の像。波をかたどった台の上に乗し、口から水を吐く。シンガポールのシンボル。この像は、マリーナ・ベイ地区のマーライオン公園内の本家（高さ8m）の他に、本家の背後のミニマーライオン（高さ2m）、シンガポール政府観光局本局の前、フェバー山などにもあります。
- エリザベス・ウォーク／エリザベス2世の戴冠式を記念してつくられた海沿いにある緑の木立の遊歩道。長さ2km。近くにマーライオン（上記の本家）が見える。夜は高層ビル群の夜景が美しい。
- シンガポール・フライヤー／マリーナエリアに2008年3月に開業した高さ165mの観覧車。現在ラスベガスのハイ・ローラー（高さ167m）に次いで世界第2位。
- ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ／マリーナ・ベイ・エリアの隣にオープンしたSF映画さながらの風景が広がる超巨大植物園。園内には18本の人工巨木スーパーツリーが林立する。
- チャイナ・タウン／寺院があり、屋台や雑貨店が多い。
- アラブ・ストリート／アラブ人街。黄金色のドームを持つサルタン・モスクが象徴となっている。
- オーチャード通り／ブランドショップやデパート、巨大ショッピングセンター、高級ホテルが軒を連ねるシンガポールの中心的ショッピング街。地元の人や観光客でいつも賑わっている。
- シンガポール植物園／約150年の歴史を持つ、広さ約64ヘクタールの熱帯植物園。4,000種類の熱帯の木々を見ることができる。シンガポール初の世界遺産。
- ジュロン・バード・パーク／ジュロン地区にある世界最大規模の野鳥公園。
- ナイトサファリ／夜行性動物を飼育している屋外動物園で、トラムカーに乗って見学できる。シンガポール動物園の隣にある。
- マリーナ・ベイ・サンズ／ベイ・フロント・エリアに建つ巨大な複合施設で、3棟のホテルの上に船を乗せたような外観が特徴的な建物。人気の屋上プールやコンベンションセンター、カジノなどの施設がある。
- セントーサ島／シンガポールのリゾート。アドベンチャー・コース・ウォーターパーク、シー・アクアリウム、タイガー・スカイ・タワーなどのアトラクションのほか、ビーチ、ゴルフ、スパなどの施設が充実している。
- ジョホール・バル／マレー半島の南端にあるマレーシアの都市。ジョホール水道を隔てて堤で繋がっている。ビクトリア朝のベサール宮殿、白亜のイスラム寺院アブ・バカルルなどがある。
- Batam 島／シンガポールの南約20kmにあるインドネシア領の島。高速船で約1時間と近いことから、シンガポールの人達がマリンスポーツやゴルフを楽しむリゾートとして人気。
- Bintan 島／シンガポールから南東へ46kmの沖にあるインドネシア領の島。近年、数多くのリゾートホテルが建ち並び、アジア有数のビーチリゾートとして人気が高まっている。シンガポールのタナ・メラ・フェリーターミナルから高速フェリーで約50分。

<Attention Please!!>

- シンガポールの水事情：シンガポールは山間部が少なく、水を国内だけで自給できる貯水池が少ないため、隣国マレーシアの水源に需要の半分近くを依存している。1988年に締結された契約で、シンガポールはマレーシアのジョホール州から毎日最大で約11億リットルの原水を購入しているが、今後益々拡大する水需要に応えるため同国では、新たな水源確保のために「貯水池の拡充」、「淡水化プラント計画」、「雑用水処理施設計画」などを推進している。
- シンガポールのカジノ：シンガポールには政府公認のカジノ施設が2つある。ひとつはリゾート・ワールド・セントーサ（カジノやユニバーサル・スタジオ・シンガポール、水族館、ショッピングセンター、ホテルなどからなる複合リゾート）内にあり、もうひとつはマリーナ・ベイ地区のマリーナ・ベイ・サンズ内にある。